



学校だより

9月号(第537号)
令和2年8月24日
横浜市立すみれが丘小学校

学校教育目標

〈すすんで みんなで れいをつくして がんばりつづけて おもいあって かがやきつづける すみれっ子〉
～豊かな人間関係の中で、一人ひとりが自分のよさを十分に発揮し、互いに高め合う子を育てます～

「なかま」とともにたくましく生きていく力

校長 吉田 茂樹

今年の夏休みは、16日間の短い期間でしたが、子どもたちは、それぞれ、自宅でゆっくり過ごしたり、密に気を付けながらお出かけをしたりしてリフレッシュすることができたことと思います。暑い中ですが、子どもたちは、落ち着いて学習課題に取り組み、頑張っています。特に1年生の元気さには驚かされます。今後も引き続き、新型コロナウイルス感染予防や熱中症対策、交通安全指導に努めていきたいと思っています。交通事故につきましては、都筑区内でも自転車に乗っていた小学生がバスと接触し、亡くなる事例が出ています。ご家庭におかれましても歩行・自転車のどちらも横断歩道であっても必ず一度止まり、左右を確認してから渡るように声掛けをしていただければと思います。

さて、例年、夏の風物詩ともいえる甲子園での高校野球全国大会も今年は、中止となってしまいました。各都道府県では、代替となる独自大会を開催し、選手たちは、気持ちを切り替えて臨んでいました。3月から6月下旬までチームで集まっての練習ができない中、ある野球部は、選手が自主的にオンラインを使って仲間たちと個人の練習状況について情報共有したり、近くの部員同士で合同練習したりしたそうです。夏の大会前に恒例となっている厳しい短距離ダッシュの練習メニューも自主トレーニングで各自取り組み、できる準備をしてきたとのことでした。監督もしばらく見ないうちに選手の体がすごく大きくなっているのを見て驚いたと話していました。甲子園という目標はなくなっても、仲間と野球がしたい、後輩たちに自分たちの最後までやり遂げる姿を見せたいという強い意志があったということです。先行きが不透明な時代になってくる中で、時代の変化に臨機応変に対応する力や気持ちの持ち方はとても大切になってきます。また、いつの時代でも不変なのが仲間の絆、支え合いなのだなどと改めて感じました。

すみれっ子には、本校のスローガンにありますように「すすんで考え、行動し」「みんな力で力を合わせて」「がんばりつづけて」「おもいあって」を実践していく中で、これからの時代を仲間とたくましく生きていく力を身に付けていってほしいと願っています。



国語や算数では、どの学年も7月分の学習内容に入っています。12月までには、通常の進度に戻れるように工夫して取り組んでいます。6学年は、既に通常の進度に戻っています。算数では、少人数授業を行っています。(写真)